

コード	103020115
記入日	H21.6.8

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	川口博生

作成年度	平成 21 年度
------	----------

事務事業事後評価表

評価対象事業名称	町道有川7号線改良事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費(道路)	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画		法令・条例規則等	道路法	

計画 (PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象:誰、何を対象にしているのか			対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者			(対象指標1) 地区住民 487人(203世帯)				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)		
*****		改良延長L=34.0m 幅員W=6.0m 事業費C=3,262千円 舗装工A=42㎡ 排水工L=34m	*****	*****	*****	改良延長÷計画延長	*****
			改良延長	34.0m	100%		平成20年度
			① (達成率分析)	計画どおり達成できた。			
			② (達成率分析)				
目的:何をしたいのか			成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
本計画箇所は、有川9号線の起点の木場川に架かる橋との取付部にあたり、また通学路でもあるが幅員が狭いため車輛の通行が困難な状況にある。このため道路を改良することにより交通の安全確保及び住民の生活環境の向上を図る。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			*****	*****	*****	実施事業費÷計画事業費	*****
			進捗率	3,262千円	100%		平成20年度
			① (達成率分析)	計画どおり完成した。			
			② (達成率分析)				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画
活動指標	① m	34.0	34.0		34.0
	②				
成果指標	① %	100	100		100
	②				
総事業費 C (A+B)		千円	3,962	3,962	3,962
直接事業費 A		千円	3,262	3,262	3,262
人件費 B		千円	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円			
	県補助金	千円			
	起債	千円	3,000	3,000	3,000
	その他	千円			
一般財源		千円	962	962	962

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の安全性及び利便性については、普遍的なものであり行う必要がある。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の利用者とすることで適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の利便性及び安全性が確保された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	計画どおり実施された。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の利便性及び安全性が確保できない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	道路管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点
	なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 計画どおり目的を達成した。
2次評価	道路環境整備は、地域住民の安全・安心を確保するもの、今後も地域の意見を把握しながら、また道路管理責任を果たすものとして、計画的な道路整備を進めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。